

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.118

2009年11月30日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

子どもたちが生き生きと輝く授業を実践

11月に姫路市で、研究所の算数・数学教育部会の授業研究会を開催しました。研究所員・協力研究所員をはじめ、開催校の教職員の方にもご参加いただき、実り多い授業研究会になりました。また今回は、協力研究所員の勤務校から研修留学生（ブルネイ・ダルサラーム国）の参加もありました。



授業の内容は、「平行四辺形の面積の求め方を考える」(5年生)で、形態はT・Tでした。授業の中に「ミニ授業」を仕組み、つまずきを解消するよう工夫されていました。ホワイトボードの活用も的確で、子どもたちが真剣に説明を聞いていました。

研究討議では、活発な意見交換の中で、「『高さ』のとらえ方が難しい」「周りの長さが変わらなければ、面積もかわらないととらえている」「方眼の読み取りが不安なため、あえて定規を使う」等の子どもの実態も出されました。



第1回学校事務実践講座 開催

11月、明石市において第1回学校事務実践講座を開催し、県内各地より約40名が参加しました。

午前の実践報告では、「学校事務職員のより積極的な学校運営への参画をめざす」をテーマとして、施設設備領域における具体的なとりくみが報告されました。



午後は学校施設見学のあと4班に分かれてグループワークをおこない、「子どもが通いたくなる学校施設・設備」「指導がしやすい学校施設・設備」「維持管理しやすい学校施設・設備」といった視点から意見交換をおこないました。

「子どもたちの安全・快適な学校生活」を実現するために、学校事務職員にどのような役割がもとめられているのか、また、学校事務職員がどのようにかかわっていくことができるのか。子どもを中心に据えて、実態と実践をもとに考える貴重な機会となりました。

